

## 第18回全国高等学校選抜アイスホッケー大会 新型コロナウイルス感染症対応について

今大会は、2023年5月11日に公益財団法人日本アイスホッケー連盟より公表された「JIHF事業における留意事項」に基づき、過去2大会を踏まえた経過措置として下記（今大会における対応）のとおり対応を行う。

### 【JIHF 事業における留意事項】

1. マスク着用は様々な場面に応じた個人の判断に委ねます。
2. 手指衛生や「三つの密」回避は、引き続き心掛けることを勧めます。
3. スケートリンク内は呼気が滞留しやすいことが立証されています。リンク、控室、施設内での換気促進は今後も継続してください。
4. 体調管理・健康観察は引き続き心掛け、何らかの症状がある場合は、事業には参加せず、病院の受診、自主検査等により早期発見に努めてください。
5. 事業参加前の各種検査や健康記録提出等は実施しませんが、参加中に何らかの症状がある場合は、当該事業スタッフへ即時申し出てください。
6. 新型コロナウイルス感染症への感染が確認された場合は「発症した後5日経過し、かつ症状が軽快している（熱が平熱など）後1日経過している」ことを確認し、各種事業に参加することを推奨します。

### 【今大会における対応】

マスクの着用	・可能な限りマスクの着用を推奨する。
検査等	・会場入場時に検温、手指消毒を行う。 ・検温で37.5℃以上だった場合は、感染の有無にかかわらず、本人のみ出場停止とする。（医療機関への受診を推奨する。）
換気	・会場は、ピリオド間、試合間、試合終了後にCO <sub>2</sub> 濃度計の数値に基づき実行委員会事務局が換気を実施する。 ・控室に空気清浄機を設置し、使用するチームは定期的に換気を実施する。
チーム管理	・各チームにおいて選手の体調管理、感染症への対応を行う。
感染者発生時	・原則、大会は継続し、感染者のみ出場停止とする。 ・「発症した後5日経過し、かつ症状が軽快している後1日経過している」場合は参加可能とする。（チーム代表者が確認を行う。） ・チーム代表者は感染者の情報を実行委員会事務局に報告する。
その他	・緊急を要する不測の事態等が発生した場合には、実行委員会が保健所等の関係機関と協議の上で対応を決定する。